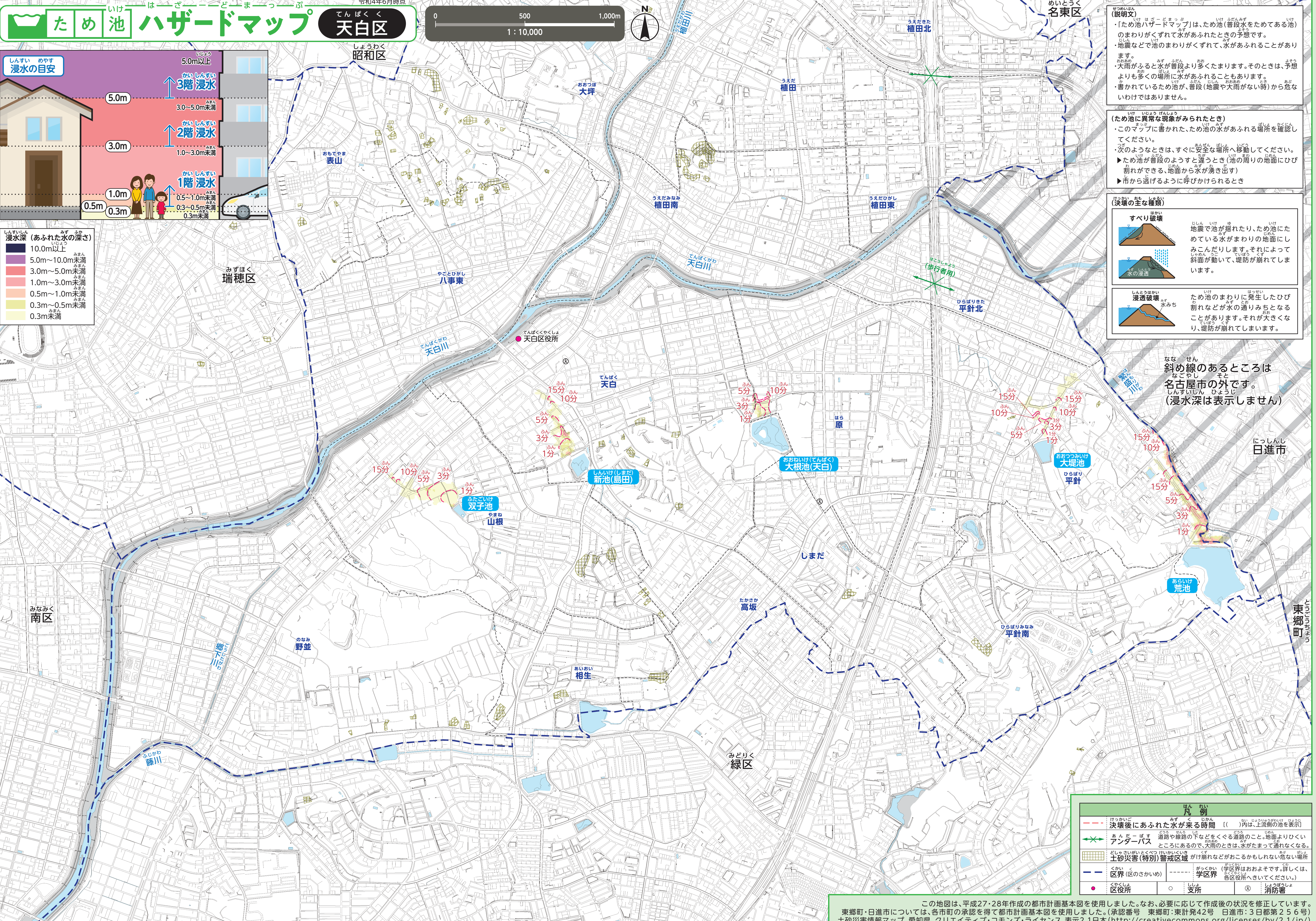
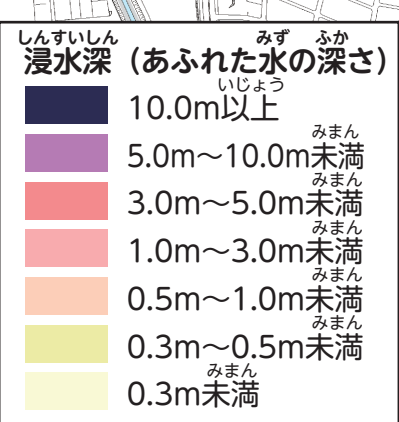
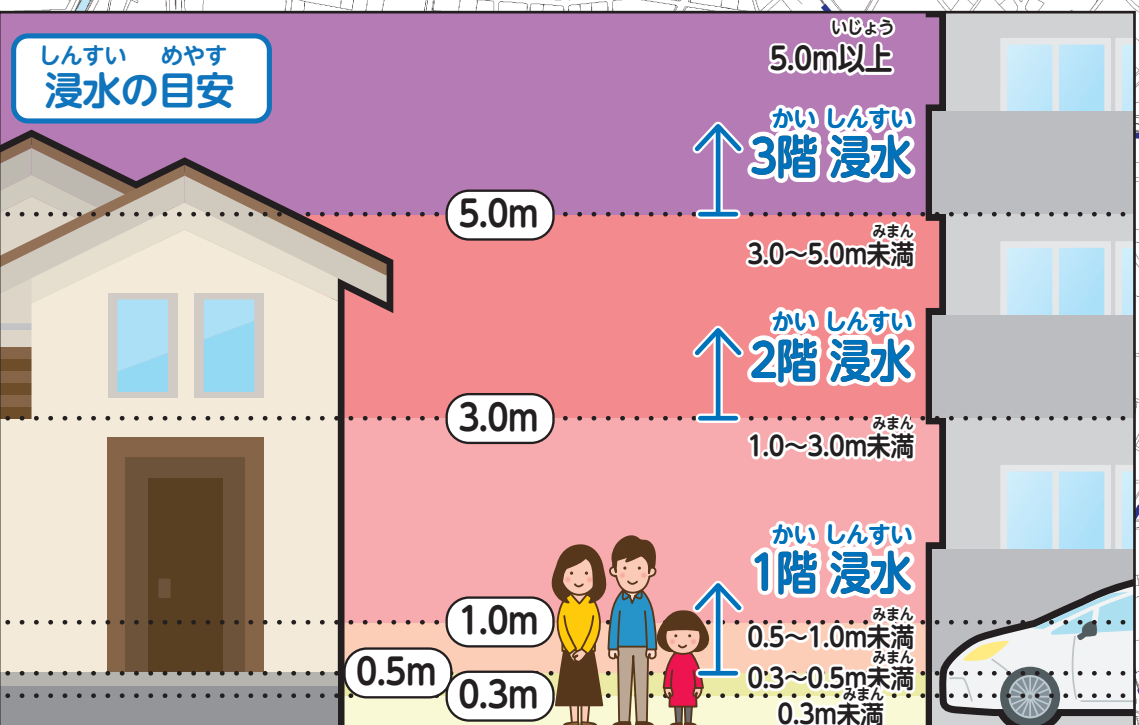




(説明文)
「ため池ハザードマップ」は、ため池(普段水をためてある池)のまわりがぐずれて水があふれたときの予想です。
・地震などで池のまわりがぐずれて、水があふれることがあります。
・大雨がふると水が普段より多くなります。そのときは、予想よりも多くの場所に水があふれることもあります。
・書かれているため池が、普段(地震や大雨がない時)から危ないわけではありません。

(ため池に異常な現象がみられたとき)
・このマップに書かれた、ため池の水があふれる場所を確認してください。
・次のようなときは、すぐに安全な場所へ移動してください。
▶ため池が普段のようすと違うとき(池の周りの地面にひび割れができる、地面から水が湧き出す)
▶市から逃げるように呼びかけられるとき

(決壊の主な種類)

すべり破壊

地震で池が揺れたり、ため池にためている水がまわりの地面にしみこんだりします。それによって斜面が動いて、堤防が崩れてしまいます。

浸透破壊

ため池のまわりに発生したひび割れなどが水の通りみちとなることがあります。それが大きくなり、堤防が崩れてしまいます。

斜め線のあるところは
名古屋市の外です。
(浸水深は表示しません)

凡 例			
決壊後にあふれた水が来る時間	()内は、上流側の池を表示		
アンダーパス	道路や線路の下などをくぐる道路のこと。地面よりくいところがあるので、大雨のときは、水がたまって通れなくなる。		
土砂災害(特別)警戒区域	がけ崩れなどがおこるかもしれない危険な場所		
区界(区のかいめ)	学区界(学区界はおおよそです。詳しくは、各学区役所へきいてください。)		
区役所	支所	消防署	